

戸社地第2161号
令和4年10月3日

戸田市福祉施策審議会委員 各位
戸田市社会福祉協議会地域福祉活動計画企画委員会委員 各位

戸田市福祉施策審議会
会長 田嶋 英行

戸田市社会福祉協議会地域福祉活動計画
企画委員会
委員長 田嶋 英行

令和4年度第2回戸田市福祉施策審議会・戸田市社会福祉協議会地域福祉活動計画企画委員会の審議結果について（通知）

時下、委員の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。
さて、先日御回答をいただきました、令和4年度第2回戸田市福祉施策審議会について、
下記のとおり御報告いたします。
御不明な点等がありましたら下記担当まで御連絡ください。

記

1. 審議事項

第5期戸田市地域福祉計画・第5期戸田市社会福祉協議会地域福祉活動計画の素案について委員の皆様から意見を募った。寄せられた意見については、別添のとおりです。

2. 問合せ先（事務局）

社会福祉法人戸田市社会福祉協議会 地域福祉課 地域福祉推進係
担当：板井、大滝
住所：〒335-0022 戸田市大字上戸田5番地の6
TEL：048-442-0309 FAX：048-442-3996
メール：tiiki@todashakyo.or.jp

	確認箇所		ご意見	回答
審議事項(1) 第5期戸田市地域福祉計画・第5期戸田市社会福祉協議会地域福祉活動計画の素案について	議題1 第4章施策の展開について	1	P34～45の「市民の取り組み」ですが、市や社協と同様に部分的にでも数値目標を入れてはどうでしょうか。	「市民の取り組み」については、数値になじまない取組もあるため、本計画では定量的な目標を設定しておりません。なお、いただきました意見をもとに、「市民の取り組み」は「市民のできること」へ変更し、市民がより具体的に地域福祉推進に向けて取り組めるような記載へ変更いたします。
		2	<p>P.30に実現したい地域の姿として「歩いて行ける範囲に住民同士が交流し、一緒に活動したり、困ったときにはふらっと立ち寄り相談できる場所があるまち」とありますが、戸田市内にはこのような場所が随所にあり、とても素晴らしいと思います。</p> <p>交流の出来る場所がたくさんある街は既に達成できていると思いますので、その上での話になりますが・・・人との交流が少なく、ひきこもりがちな人にとっては、もう既にグループが出来上がっているような場所にはなかなか行きにくいと思いますので、誰もがその中に入れるように「一緒にどうぞ」と声をかけたり、気を配ったりできる人の存在が、その中にあると良いな、と思います。そして誰もが外に出て行くことが出来るように近所同士の声掛けが一番大切なのだと思います。</p>	<p>人との交流が少なく、引きこもりがちな人が、グループに入れるよう、地域ごとに配置しているコミュニティソーシャルワーカーが支援をしております。また、新しくボランティア活動等をはじめの方に対し、「一緒にどうぞ」等の声掛けが出来る方が増えるよう、「地域福祉活動の担い手の確保」として、ボランティア講座の充実に取り組んでまいります。</p>

		<p>3 ボランティア育成について。ボランティアセミナーに以前参加して感じたのですが、ボランティア活動に関して何日にもわたっているいろいろな事を教えて頂き、とても感謝致しましたが、ボランティアセミナー終了後に受講生全員でひとつの団体をつくり活動する、と聞いた時に実はとても驚きました。勉強だけしたかった人、単独でボランティア活動をしたいと考えている人など、さまざまな人がいると思います。</p> <p>ボランティアセミナーなどを開催する時は、はじめから、受講後には仲良くなった仲間とグループを作って一緒にボランティア活動をする事もできます!と強制はせずに、でも仲間と活動できるようになるかもしれない点もアピールすると良いのではないかと思います。</p>	<p>ご意見のとおり、ボランティアセミナーを受講した方が、団体化することにより、活動のモチベーションも継続し、ボランティア情報も得やすくなる等、メリットが多いことから、受講生の皆様には団体化を推進しています。</p> <p>しかし、多様なボランティアのニーズをもった方がいらっしゃるため、その方にあった活動を丁寧に支援してまいります。</p>
		<p>4 P.35 には外国人への支援について書かれていますが、外国籍の人に対する差別や憎悪が生まれがちな社会となってしまっていますので、どこの国出身の人とでも交流ができるような場がたくさんあると良いと思います。外国籍の人に対するものだけではなく、自分たちと違う人に対する差別意識が育たない環境づくりが大切だと思います。</p>	<p>P35「外国人への支援」については、引き続き戸田市国際交流協会と連携し、どのような支援ができるか検討していきたいと考えています。</p> <p>また、いただきました意見を踏まえ、P30「地域コミュニティづくりの支援」に下記の文言を追加します。</p> <p>また、本市には様々な国の外国人が暮らしています。多文化共生を推進するため、TIFA(戸田市</p>

			国際交流協会)と連携し、さらなる日本人住民と外国人住民の交流を促進します。
		5	<p>戸田市では外国人が年々増加しているが、福祉、防災の面からも外国人に対して手を差し伸べる施策を具体化した方が良いと思う。</p> <p>本市の外国人住民は年々増加傾向にあり、現在、「戸田市多文化共生推進計画」のもと、対応を進めているところです。 外国人に手を差し伸べる施策としては、P44「外国人市民相談窓口の運営」で外国人の方が利用できる福祉サービスを案内するなど、外国人が相談しやすい環境の整備を進めています。また、いただきましたご意見をもとにP38「福祉に関する情報の発信」に下記の文言を追加します。 また、日本語の文字や言葉が十分に分からない外国人に向けて、ハザードブックや申請書類の多言語化(やさしい日本語を含む)を進めるとともに、多様なメディアによる情報提供の充実を図っていきます。</p>
		6	<p>居場所づくりの支援について ひとり親家庭の貧困がさげばれていますが、コロナ禍でさらに悪化しているとも報告されています。「こどもの居場所」の増設はよいことと思いますが、直接にひとり親家庭に働きかけて問題がないか、支援の必要性はないか調査してみる</p> <p>ご意見をいただきました新型コロナウイルス感染症による暮らしへの影響については、市としても取り組まなければならない課題であると認識しています。 本計画においても、ひとり親家庭を含む子育て世帯の直接的な生活支援について、基本施策3「福祉サービスの充実した戸田づくり」において「安定</p>

別添資料 第2回戸田市福祉施策審議会に係る意見について

		<p>ことや、このような市の取り組みの周知も有効と思われる。</p>	<p>した暮らしのための支援」「相談支援サービスの充実」を記し、ひとり親世帯の児童・生徒への学習支援やこども家庭相談センターの運営に取り組んでいます。</p> <p>また、支援の方法や調査の必要性については、「子ども・子育て支援事業計画」を中心に、引き続き検討するものいたします。</p> <p>なお、「こどもの居場所」を始めとする子育て支援事業の取り組みは、計画にコラム欄を掲載し、さらに周知を図ることいたします。</p>
	7	<p>見開きで、市と社協の取り組みが対比出来て、両方の関係性が分かりやすいと思います。可能なら、指標・目標の位置は合わせられると、紙面がすっきりとするかなと思いました。</p>	<p>見やすい紙面になるよう変更させていただきます。</p>
	8	<p>市及び社協の取り組みに対して、市民の取り組みが少し説明不足かな?と思いますが、いかがでしょうか。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、具体的で分かりやすい記載に変更いたします。</p>
	9	<p>戸田市民憲章で「話し合い、助け合いの輪をひろげましょう」という一文があり、そのとおりになれば良いのですが、今、自分の生活に余裕がなければ、他人に興味を持たない、自分に干渉されたくないのので人に関心を持たない人もいます。多様な考えがあるので、成長していく中で人を</p>	<p>計画が目指す「地域共生社会」は、「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し作り上げていくものです。しかしながら、ご指摘のとおり、自身の生活に余裕がない状況では、自分以外を思いやる余裕を持つことができなくなることも考えられます。</p>

別添資料 第2回戸田市福祉施策審議会に係る意見について

			<p>思いやる気持ちを持てるようにしなければならぬと思います。</p>	<p>基本理念「やわらかに響きあう～認めあい、話しあい、支えあい、ホッとする戸田～」の実現に向けて、様々な要因によって生活に困窮している方が安定した暮らしを送ることができるように、地域住民や関係機関と連携し、支援につながる環境づくりに努めてまいります。</p>
		10	<p>「市民の取り組み」との表現は、市民に義務を課すような印象があります。このため、例えば「市民ができること」というような表現が良いと考えます。</p>	<p>いただいたご意見を踏まえ、「市民の取り組み」から、「市民のできること」へ変更いたします。</p>
		11	<p>コロナ禍の中、書面での意見は難しいと思う内容だと思いました。</p>	<p>第2回審議会は新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、やむなく書面会議での開催となりました。今後は感染症対策を講じたうえで、対面会議とWEB経由のオンライン会議を併用するなど、委員の皆さまにとってより一層参加しやすい会議となるよう運営方法を検討してまいります。</p>
		12	<p>P28以降の施策の展開について、目標とする数と差がある・ないだけでは計れない事案だと思います。</p>	<p>各取組における目標数値は、計画を推進していくにあたっての具体的指標の一つとして設定しておりますが、指標として定めている取組に関わらず、基本理念に基づき、だれもが安心して地域で暮らし続けられる戸田市を目指して地域福祉を推進してまいります。</p>

議題2 用語解説に ついて	1	P.31「まごころこども塾事業」これがどうい うもので、何をされているものか知りたいです。	用語解説に掲載させていただきます。
	2	P.39「福祉マップ(地域資源マップ)」ネット で調べましたら戸田市内のたくさんの場所でい ろいろな活動をされていることを知りました。こ の言葉についても簡単に説明があると良いと思 います。	用語解説に掲載させていただきます。
	3	私の世代だと、カタカナの新語が似たような用 語でなかなか覚えられません。	用語解説欄を活用し、分かりやすい計画書とな るようにいたします。
議題3 コラム等につ いて	1	前回の会議のときに「子供が積極的にボラン ティアに参加できる機会があれば良いのではな いか」という意見が出ていましたので、P.29「小 学生親子ボランティア学習講座」や「彩の国ボ ランティア体験プログラム」の中で最近どのよう なことが行われたのか、写真付きで紹介するの はどうでしょうか。	コラム等を活用し、写真付きで掲載させていた だきたいと思います。
	2	アウトリーチが必要な市民はとて多いと思 います。特に必要な言葉やコラムは何回も掲載し ても良いのではないのでしょうか。	参考にさせていただきます。
	3	地域の支え合いや助け合い事業に参加したこ とがない場合、計画の内容がピンと来ない市民 も多いのではないかと思います。そこで、例えば、 市内ボランティア団体の活動事例や社協支部	参考にさせていただきます。

			活動の様子、シルバー人材センターの生活支援状況、民生委員さんの活動の紹介や、活動する人の想い、生活支援のボランティアを利用している人の声・など、計画で書かれていることが具体的にイメージできるような、補足(コラム)などがあっても良いかと思いました。	
		4	身近な話題だと、興味が持てるのでわかりやすく掲載していただけると良いと思います。	コラム欄を活用し、多くの方に読んでいただける計画となるようにいたします。
その他		1	P4の戸田市各種計画について、6つの計画の時期が異なっていますが、それぞれ互いにどのように反映しているのでしょうか。簡単な説明を入れていただけるとありがたいと思います。	いただきました意見を踏まえ、P4「1-4計画の期間」に下記の文言を追加いたします。 各分野の個別計画は、それぞれの根拠法令等に基づき、関連する計画と整合性を図り策定されています。本計画は、福祉分野の上位計画として分野横断的に定めた計画であり、先行する各計画の見直しの際は、共通の方向性を持たせることで、施策・事業の推進を図る役割を持っています。なお、社会情勢の変化等により、必要に応じ見直しをすることがあります。
		2	P8「第4期地域福祉計画の取り組み指標における達成状況」で、市民の指標が当初42%、最終年度33%と下がっているが、この数値の差はどのような理由からでしょうか。	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出制限等で、地域活動やボランティアに参加することが物理的に難しい状況であったことが要因であると考えています。P30「ICTを活用した地域交流活動の支援」等を通じて、活動しやすい環境づ

別添資料 第2回戸田市福祉施策審議会に係る意見について

			<p>くりに努めるとともに、P31「支部活動活性化事業の実施」等で、休止していた地域福祉活動の再開に向けた支援を行います。</p>	
		3	<p>どうしたら誰もが助け合って幸せに暮らして行かれるようになるか市や社協の方々がこんなに考えてくださっていたことを知り、私を含め誰もが守られているんだ!ととてもほっとするような嬉しい気持ちになりました。</p>	<p>これからも、市と社会福祉協議会で連携しながら、支え合いの地域づくりを進めてまいります。</p>
		4	<p>希薄な人間関係からいろいろ問題が起こり市内中学生の刺傷事件も悩んでいる事をまわりの者が支援できれば防げることで、支えあう世の中になってほしい。</p>	<p>市と社会福祉協議会、関係機関と市民が緊密に連携し、悩みを抱える人に対して息長く寄り添って支援ができるような計画としてまいります。</p>